

現在の要求の多い アプリケーション・エコノミーで、 IT 組織が持続的価値を 実現するには

俊敏性、スケーラビリティ、対障害弾力性にきわめて優れた継続的デリバリ・パイプラインの構築

概要

課題

デジタル・トランスフォーメーションによって、実質的にすべての企業はどのような形にせよ、ソフトウェア・プロバイダになりました。現在、個人と企業との間で行われるほぼすべてのインタラクションには、個人的な目的か仕事上の目的かを問わず、デジタル・コンポーネントが含まれるため、ユーザはあらゆるチャネルとデバイスにまたがりシームレスで豊富な、高品質なエクスペリエンスを期待することが常となっています。その結果、企業は顧客価値を確立し実現するための新しい方法を見つけることが求められています。

アプリケーション・エコノミーで転換を遂げ成功を収めるために、企業は継続的デリバリを受け入れる必要があります。継続的デリバリとは、優れたユーザ・エクスペリエンスを提供し、社内外の顧客の要求を同じように満たすアプリケーションを迅速かつ確実にオンデマンドでリリースできることです。

ただし、継続的デリバリは手っ取り早い解決策ではありません。それは企業が自動化と標準化を徐々に進め、効率性とアジャイル性を向上させ、同時にリリース品質を改善していく過程です。企業は成熟するにしたいが、アプリケーションの増大するリズムと複雑性に対処できるようになります。一方、チームは生産性が向上し、無計画な作業の管理や保守作業ではなく、他と差別化した機能のデリバリに集中できるようになります。

ただしこの過程には困難もあります。多くの企業は特に以下のような点で苦慮しています。

- **より多く、より迅速なデリバリへのプレッシャー**：顧客と企業の要求に応えるには、リリースの規模と速度を増やし、効率的なフィードバック・ループを確立する必要がありますが、これはスループットの遅さがリリース・パイプラインに影響しているときには不可能なタスクです。
- **エンタープライズの複雑性**：幅広い環境やインフラストラクチャは言うまでもなく、多数のチームにまたがってさまざまなツールとテクノロジーの優先傾向が存在するなかで、すべてを統合することは至難の業です。
- **アプリケーションのダウンタイムとエラー**：急いで移行しようとする、特にチームのプロセスが手作業であったりスクリプトを使用している場合、ミスや品質低下につながる可能性があります。

ビジネス・チャンス

自動化された継続的デリバリ・パイプラインを確立できれば、企業はデリバリ・プロセスを簡略化して標準化でき、最終的にはより高品質なリリースをもっと頻繁にロールアウトできるようになります。

接続されたチームとしてリリースの計画、実行、管理を行うことができ、変化する要件にもっと対応できるようになります。同様に、アプリケーション、リリース、環境、依存性の拡大に応じて規模を拡大することが、もっと容易になります。また、リリース品質、パイプライン・プロセス、解決にかかる時間、チームの生産性の継続的改善を可能にするようなデータ活用を行う自由が得られるでしょう。

CA Release Automation は 本格的な継続的デリバリを実現

課題：より多く、より迅速なデリバリへのプレッシャー

企業にとって、多様な顧客を満足させ、ビジネス上の期待に応えるために、アプリケーションを迅速かつ確実にデリバリしなければならないというプレッシャーは高まる一方です。開発チームはより小規模な更新をより頻繁にロールアウトしようと努め、運用チームは性能やセキュリティ、可用性を損ねることなく、後れを取らないようリリース・プロセスを維持する必要があります。

関与するチームやアプリケーション、リリースが増えるにつれ、このプレッシャーはあっという間にエスカレートします。多数の移動パートと依存性を含むリリース・パイプラインを管理しながら、ボトルネックの排除、競合の回避、コンプライアンスの維持を行うことは、すぐに対応が困難になります。

フロントエンドでアジャイル開発を活用するには通常、顧客とビジネス要件を満足させる、エラーのない着実なリリース・フローを維持するために、組織的な継続的デリバリ・プラクティスが必要です。

CA Release Automation ソリューション

CA Release Automation を使用すれば、リリース・サイクルのアジリティが向上するため、アプリケーションの更新とストーリーはずっとスムーズに協調してエンドツーエンドに開発パイプラインを流れます。複雑なリリース・プロセスでも一度開発すれば、それらのプロセスをアプリケーション、チーム、および環境にまたがり再利用できるため、デプロイを迅速化し、エラーを減らし、生産性を向上させることができます。また、パワフルなワークフロー・エンジンによって、標準的なデプロイ・プロセスを簡単に視覚的に作成できます。

これらの機能を CA Release Automation に組み込まれた高度な継続的デリバリ機能と組み合わせると、アジャイルな成果から本番まで、複雑なリリース・サイクルの計画、管理、統制に必要なすべてを備えることができます。複数アプリケーション、複数チームのリリースのコンテンツと範囲を効果的に方向づけ、ビジネス要件に合わせてコンテンツの優先順位を設定するために必要な可視性が得られ、相互依存関係を把握し、エンドツーエンドでプロセスを容易に管理でき、リリース・ウィンドウが脅かされる前に競合を迅速に解決できます。

また、リリースのすべての段階でチーム・メンバーを動的に割り当て、管理し、コミュニケーションできるため、コラボレーションが改善され、役割にかかわらず関係者全員が共通の理解を持てるようになります。

課題：エンタープライズの複雑性

現代の企業は多くの点で、まったく現代的ではありません。いまだにレガシー・アプリケーションやサービス、システムを管理しなければならない、それらの多くはカスタマイズが進みすぎてビジネス・クリティカルなものになっているため、他と置き換えることが困難です。また、最近の製品やシステムとの接続にも注意が必要です。同時に、こうした企業は現在のアプリケーション・エコノミーで競争ために、新しいプラクティスやテクノロジー、プラットフォームを採用しています。

多くのチームが独立して行動していることも、複雑性を増しています。これらのチームはソフトウェアを単独で開発しデリバリーしますが、同じリソースに対する競合はまだあり、断片化されたツールやテクノロジーのスプロール化が続いています。

その結果、新しい革新的なソリューションを顧客に提供することには引き続き高いリスクが伴います。このリスクのために、このような固有の複雑性の中で迅速に動作し、品質を向上させ、コンプライアンスを確保することは企業にとって非常に困難になっています。

CA Release Automation ソリューション

CA Release Automation を使用すれば、企業のインフラストラクチャ環境に継続的デリバリー・パイプラインを採用できます。

CA Release Automation のオープン・プラットフォームは継続的デリバリー・ツールチェーンと簡単に統合できるため、チームは希望するツールとテクノロジーを使用して、あらゆるテスト環境と本番環境にアプリケーションを一貫してデプロイできます。さらに、アプリケーション・ライフサイクル管理（ALM）と変更管理ツールに接続できるため、フィードバック・ループを加速でき、将来の機能にも対応できます。

アプリケーション・デリバリーの各ステージで、CA Release Automation は 1 つのデプロイ・ワークフロー内で完璧な本番同様の環境を作成、管理、廃棄するプロセスを簡略化します。これによって、必要に応じて確実に適切なリソースが環境にプロビジョニングされます。また、本番を含むライフサイクルの次の段階へとアプリケーションを自動で移行し、不要になった環境を廃棄して他のアプリケーションのためにリソースを解放します。

このソリューションの高度な機能によって、複雑なプロセスとサーバ間処理にまたがる依存性を理解でき、多数のチームが関わるリズム、頻度、規模が増大した複合アプリケーションをより効果的にサポートできます。

課題：アプリケーションのダウンタイムとエラー

アプリケーション・エコノミーにおいて成功を収めるには、品質に対する一貫した絶え間ない注力が必要です。しかしアプリケーション・リリースの場合、特にアプリケーションの規模、速度、複雑性が増すにつれ、チームはこの目標に到達するのに苦労することが多くなります。障害と問題解決にかかる時間を減らすことは安定性の確保にとって不可欠ですが、チームはいまだに緊急対応、コードの修復、サポートのエスカレーションの管理から手が離せません。

安定性を確保する以上に、チームはリリース・パイプラインをできるだけ対障害弾力性に優れたものにする必要があります。早めに失敗して過ちから学び、迅速にアプリケーションを改善し、失敗を改善のための道具にできることが重要なのです。確かに企業はこのような可能性について認識していますが、真の最適化を確保するには継続的デリバリー・パイプラインをまとめて管理する必要があります。

CA Release Automation ソリューション

CA Release Automation を使用すれば、継続的にデリバリ・プラクティスを最適化できます。豊富なデブレイブ・プロセス・レポート、監査証跡、通知やアラートにアクセスでき、これらはすべてリリース品質やパイプライン・プロセス、解決にかかる時間の改善に必要なデータおよび知識と知見を提供します。

また、このソリューションの高度な機能は、問題やボトルネックをリアルタイムで検出できる詳細なダッシュボードを提供するため、重大な懸念が発生する前に解決が可能です。さらに、ストーリーと欠陥へのリリースのマッピング、アプリケーションのコンテンツ追跡、リリースの品質分析、リソースとチームの生産性のより効果的な管理が可能になります。このようにして、実験を受け入れ即座のフィードバックを提供する、非常に効率性に優れたパイプラインを構築できます。

主な特長

CA Release Automation は DevOps と継続的デリバリ戦略を成功させるために構築された、実績あるエンドツーエンドのアプリケーション・リリース管理ソリューションです。CA Release Automation には以下のような 2 つの異なる構成要素が含まれ、これらが連動して継続的デリバリ・プラクティスを始動させ促進します。

- **コア自動化エンジン:** 開発から本番まで、多様なサーバ、データセンタ、クラウド環境にまたがりアプリケーション・リリースを迅速かつ確実にデブレイブできます。
- **CA Release Automation Continuous Delivery Edition:** ALM ツールの統合を含め、高度な継続的デリバリ・パイプラインの計画、管理、最適化を可能にします。

このソリューションの主要な機能には以下があります。

- **オープンでスケーラブルなプラットフォーム:** 継続的デリバリ・ツールチェーンと簡単に統合でき、ソフトウェア開発ライフサイクルを通じて、エンドツーエンドの可視性と、リリースとコンテンツのオーケストレーションを提供します。
- **自動化されたモデル主導のデブレイブ操作:** 標準の再利用可能なプロセスに対応し、効率性と品質を向上させます。
- **1 つの管理ポイントで複雑なリリースの計画と実行に対応:** リリースのスケジューリング、リリース基準の確認、依存性の追跡、競合の解決を含みます。
- **カスタマイズ可能なリリース・ダッシュボード:** 継続的デリバリ・パイプラインの透明性、ガバナンス、可監査性、レポート機能、リリース分析を提供します。
- **ナレッジの保護:** リリース情報を 1 つの完全なソースから提供し、企業全体の監査と説明責任に利用できます。

CA Release Automation は市場をリードする CA Technologies の継続的デリバリ・ポートフォリオの中心となる製品です。ポートフォリオにはこの他にもアジャイル開発やテスト管理のための製品が含まれます。

メリット

CA Release Automation を実装すると、以下のことが実現可能です。



CA Release Automation がアジャイルでスケーラブルな対障害弾力性に優れたパイプライン構築にどのように役立つかについて、詳細は、ca.com/jp/releaseautomation をご覧ください。



ca.com/jp/でCA Technologiesにアクセスしてください。



CA Technologies (NASDAQ : CA) は、企業の変革を推進するソフトウェアを作成し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスを獲得できるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。詳細については ca.com/jp/ をご覧ください。